

## 『ME プレイグループ(練習会)への誘い』vol.8: ニューヨークの扉(Magic(レベル 3)編その 4)

このメールレターでは、ME 認定プラクティショナー土井 英明が、ME の世界に触れてみてふと思ったことを綴ります。

本来、12月14日(土)ME 東京練習会より前にお送りする予定でした。今月は会社での仕事、イベント準備で忙しく、配信が遅れてしまいました……。

+ --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + ---

今回は、Magic(レベル 3)と Fundamentals(レベル 1、2)との違いについてお伝えします。

ME の基礎、本質はすべて、Fundamentals ですすでに学んでいます。

ME のフィールドを介して、ゼロポイントフィールド、必要な変容に関わる形態形成場と戯れること。そのために、入り口となるハートのフィールドへドロップダウンすること。気がつくことに気がつくこと。委ね、手放し、遊ぶこと。

テーマを認識したあとは、クリップボードへ貼り付けたり、トライアングルのなかへ放り込んだりして、テーマに対するマインドの執着を手放す。

さあ、あとはただ遊ぶだけ!!!

これが、Fundamentals で学ぶ内容であり、ME の基礎、本質です。フィールドと戯れているなかで、どうして変容が起こるか、その理由を知る必要もない。この点は、Magic(レベル 3)でも変わらないです。

違いは、手数が圧倒的に増えることです。

古代から伝わる魔術や儀式を ME のフィールドのなかへ持ち込んだり、精霊、ガイドとなる動物の霊や、自然界の四大元素を召喚し、変容効果を高める。

周波数をラジオニクスによってチューニングし、施術効果をより洗練させる。

窓(Windows)の拡張版として、複数の窓(Multiple Windows)を用意し、Fundamentals で学んだテクニックをひとつの窓のなかへと放り込み、相乗効果を得る。

ミームという社会学の概念を引き出し、テーマ、症状と関わりある信念体系を引っ張り出し、変容に不要なもの、役に立たなくなったものとの関係性を変える。

パラレルセルフ(多次元に同時に存在する自己)にアクセスし、パラレルセルフが持つ資質や能力とつなぎ、現在の自分の

なかへと取り込む。

三角形、四角形、円といった基本図形の意味合いと力を利用し、時空に変化を加えたり、情報を取り出したりする。

次元(Dimension)を測定基準に持ち込んで、変化の度合いを測定しながら、変化を加えていく。

音を変容のプロセスに加える。

私がアメリカで受講した時に学んだことを思い出しながら書いてみました。ずいぶんたくさんを学んだおかげで、組み合わせ、新しい発想がしやすくなり、新しい型をフィールドから取り出すことができるようになったことは、おおきな効果でした。

それから、Fundamentals ではあまり強調されませんが、Magic、Mastery(レベル4)へ進むと強調されることがあります。それは、変化の度合いを測定する(Calibration する)ということです。

みなさんもテーマを持って、変容を求めて ME セッションを行いますよね。ただ、施術効果を狙って ME を行うとすれば、セッション中にどれだけの変化、効果があったのかを観察、測定することが大切になります。

測定しながら行くと、フィールドがより洗練されたかたちで関わってくるようになるため、効果も洗練されてきます。

その意味で、Magic では効果の測定をセッション中に行う場面が多くなります。窓を使い、終了したか、継続が必要かを確認したり、何番目のパラレルユニバースにアクセスすればいいのかを確認したり、どの周波数を使えばいいのかを確認したりと、マインドで決めるのではなく、フィールドに問いかけることを大切にします。

私の感覚では、Magic を受講することで、より ME のフィールドとエンタングル(量子もつれあい)する度合いが深まり、ME を行っている時の意識状態が、より深く、広がりあるものになりました。

ここまで書いてきて気がついたことは、Magic の内容をメールレーターでお伝えしようとする、Magic を受講していたときの独特のフィールドの感覚をお伝えしづらく、もどかしく思うことです。

ME に限ったことではありませんが、なにかを習得するには、体験を重ね、感覚を洗練させていくという、一見地味で、面倒に思える過程がやはり大事だと思います。

リチャードはよく、なにも知る必要はない、ただ、フィールドと一緒に遊ぼう!!!と言いますが、本当の遊びって、純粹、無垢の世界なんですね。

ある程度の人生経験を重ねていると、固定観念が多く蓄積され、そもそも、遊ぶってどういうことだっけ、とか、純粹な感覚って、どんな感じだっけ、といった、閉塞感があり、うまくそのピュアさに溶け込めないことがありますよね。日本人は生真面目ですから、余計にそうですよね。



9 時半オープン、10 時開始、12 時半終了です。

場所は、アカデミー向丘 和室

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/gmap/detail.php?id=1991>

東京メトロ 南北線 東大前駅より徒歩 4 分

東京メトロ 千代田線 根津駅より徒歩 10 分

参加費は、300 円です。

参加を希望される方は、

allthingsarepossible1203@gmail.com (土井 英明)までご連絡ください。

+ --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + ---

## |: イベント

12月23日(月・祝日)、鎌倉カフェ terre verte にて、workshop お茶会を開催します。

"巡礼" ~ セルフマスタリー ~ をテーマに、様々な逸話、体験ワークを織り交ぜ、鎌倉でのクリスマス・タイムをプロデュースします。

村上春樹 著『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』を読んでいただくと、理解が深まります。

詳細は、こちらのブログをご覧ください:

[http://allthingsarepossible.weblogs.jp/blog/2013/12/pilgrimage\\_for\\_self\\_mastery\\_23-dec-2013.html](http://allthingsarepossible.weblogs.jp/blog/2013/12/pilgrimage_for_self_mastery_23-dec-2013.html)

参加希望、お問い合わせは、

allthingsarepossible1203@gmail.com (土井 英明)までご連絡ください。

+ --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + ---

## |: 感想もお待ちしています!!!

ときどき、読者の方から感想をいただくことがあります……。それは……。本当に……。嬉しく……。(涙)……。やる気が出て、励みになったのでした……。

allthingsarepossible1203@gmail.com (土井 英明)にてお待ちしております。

+ --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + ---

**|: メールレター配信中止を希望される方**

allthingsarepossible1203@gmail.com (土井 英明)までご連絡ください。

+ --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + --- + ---

このメールレターの転送は Welcome です!!!転送、転載される際は、流れの先に光と風がある:  
(<http://allthingsarepossible.weblogs.jp/blog/>)が情報源であることを明記してください。